教育相談室だより（令和５年度第２号）

Ｒ５．５　教育相談課

人と楽につき合うために
～コミュニケーションは基本が大事～

「人とうまくいかない」と訴える人には共通の思い込みがある。それは、人とのコミュニケーションには何か高度なテクニックがあって、それを自分が持っていないというものである。

しかし、それは、勘違い。高度なテクニックではなく、誰でも持っているはずの基本を忘れている、あるいは、それができていないという場合が大半なのである。いかにも高度なテクニックを持っているように思える人がいるにしても、そういう人は基本を徹底しているに過ぎないのだ。

それでは、その基本とは何か。

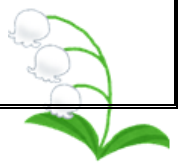
コミュニケーションとは、野球のキャッチボールのようなものである。キャッチボールをするためには、何といっても相手が取りやすい球を投げることが基本である。それから、相手がよそ見しているときに球を投げてはいけない。さて、自分は相手がとりやすい球を投げているだろうか。取りにくい球を投げてばかりしていないだろうか。すごく速い球や変化球を投げることにこだわらず、とにかく相手の取りやすい球を投げるように心がけること。それを繰り返していれば、そのうちに何球に一球かは「ナイスボール！」が投げられるようになるものだ。

基本なくして応用はない、とはよく言われることだが、何事においても「達人」とは、基本を極めた者に与えられる称号なのである。

参考：こころがホッとする考え方　　すがのたいぞう　著

スクールライフアドバイザー来校（相談時間 10：00～16：45）

５／８（月）　１２（金）　１９（金）　２６（金）



電話での相談

電話による相談もできます。教育相談室の直通の電話（青年期の探求最終ページ）を利用してください。